

接種関連のホームページへ

## 新型コロナワクチン接種情報

町新型コロナワクチン接種対策チームから、新型コロナワクチン接種についてお知らせします。

### オミクロン株対応ワクチン接種(令和4年秋開始)の終了時期について

令和4年秋ごろから開始したオミクロン株対応ワクチン接種は5月7日(日)で終了します。接種券が送付された人で接種を希望する場合は、5月7日までに接種してください。

5月8日(月)から春夏接種が始まるほか、初回接種(1・2回目)も継続して実施します。接種歴などが不明な場合は、問い合わせてください。

### 令和5年度の接種について

令和5年度の接種は、初回接種を受けた65歳以上の高齢者と重症化リスクが高い人などを対象として春夏(5~8月)に行い、初回接種を受けた5歳以上のすべての人を対象として秋冬(9月~)から接種を行う方針が国から示されました。この方針は、ワクチンの効果や持続期間を踏まえたものです。

### 5月8日以降の接種について

接種対象者 (接種時点の年齢)	初回接種(1・2回目)を 終了した65歳以上	初回接種(1・2回目)を 終了した12~64歳	初回接種(1・2回目)を 終了した5~11歳
接種回数・接種時期	年2回 ▷春夏(5~8月) 1回 ▷秋冬(9月~) 1回	年1回▷秋冬(9月~) 1回 ※基礎疾患がある人や医療従事者は、 前倒しでさらに1回接種を受けられます	年1回▷秋冬(9月~) 1回 ※5月7日までにオミクロン株対応2価 ワクチンを接種済みで、基礎疾患がある 人は前倒しでさらに1回、未接種の人は 春夏接種として1回接種を受けられます
接種券	【春夏】接種時期に合わせて4 月下旬以降に送付予定 【秋冬】接種時期に合わせて8 月下旬以降に送付予定	接種時期に合わせて8月下旬 以降に送付予定	接種時期に合わせて8月以降に 送付予定
接種方法・ 接種開始時期	【春夏】 集団接種:5月中旬以降 個別接種:5月8日以降 【秋冬】 集団接種:9月中旬以降 個別接種:9月上旬以降	集団接種:9月中旬以降 個別接種:9月上旬以降	個別接種:現在実施している医 療機関で継続して実施
使用するワクチン ※秋以降は未定	オミクロン株対応2価ワクチン	オミクロン株対応2価ワクチン	小児用オミクロン株対応2価ワ クチン(ファイザー社ワクチン)
接種費用	無料		
その他	接種場所や集団接種の日程など詳しくは、町ホームページや町広報などを確認してくだ さい。集団接種は、長島体育館で実施予定です。		

■問い合わせ先…町新型コロナワクチン接種対策チーム(保健センター内) ☎34-9808



## 姫待不動堂の調査を行いました

達谷西光寺境内で令和4年9~11月、姫待不動堂の建て替えに伴う発掘調査を行いました。寺伝によると、奥州藤原氏2代基衡公が太田川の姫待滝の近くに建てたお堂が腐朽し、寛政元年(1789)に現在地に移したと伝わっています。建物は桁行三間梁間三間の一重茅葺宝形造、ご本尊は木造不動明王坐像(県指定文化財)で平安時代後期に作ら

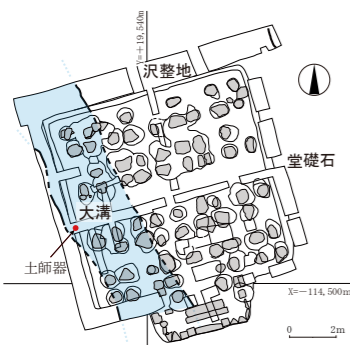
れたものです。調査の結果、お堂は沢を埋めた2回の整地の上に建てられていることが分かりました。沢は東西の幅が約10mで、この沢が中ほどまで埋まった時期に1回目の整地がされました。この直後に沢の西側に沿って幅約3m、深さ約1mの逆台形の大溝が掘られました。大溝はお堂を建てる直前まで開口していました

が、工事の際に完全に埋められ(2回目の整地)、その上にお堂の基礎が作られました。お堂は約10m四方の大きさで、30~80cmの穴を掘ったところにごぶし大の小石を敷き、約70個の礎石を並べていました。

1回目の整地の年代は、埋土の状況から近世の可能性が高く、2回目は寺伝の通り18世紀と推定されます。遺物はお堂の床下や根石の間から江戸時代の寛永通宝や大正昭和初期の桐一銭青銅貨が出土。沢の西側斜面土からは9~10世紀の土師器甕、東側斜面土から12世紀のかわらけが出土しています。



調査区全体(南から)



遺構全体図



1回目の整地(右)を掘り込む大溝



沢跡下層の火山灰土層

沢跡の下層で915年に噴火した十和田a降下火山灰とみられる灰白色の層が、数cmの厚さで帯状に堆積していました。



9~10世紀の土師器甕



銭貨(寛永通宝・桐一銭青銅貨)

私は、昭和31年に長島地区の農家の次男として生まれました。両親に連れられ田畑に行っては泥まみれになって遊び、牛に餌やりをしてのびのび過ごしました。子どものころの楽しかった思い出は、源義経公東下り行列など春の藤原まつりを毎年、友人と毎日見に行ったことや、家族総出で束稲山の麓まで登り、山林の斜面に杉苗を植えたことです。



今年帰省して藤原まつり見物を幹事 伊藤 裕章

ふるさと平泉会の幹事に、埼玉県越谷市在住の伊藤裕章さん(推薦者・浅利日和幹事長が就任しました。就任に当たり、伊藤さんからの寄稿を紹介します。

寄稿 ふるさと平泉会から

私は趣味を多く持ち、仕事をしながら楽しんでます。その中でサッカーだけは、いまだ現役です。週末には自宅のある埼玉県越谷市から車で2時間かけて試合会場に向かい、走って、蹴って、ゴールを決めています。65歳以上のアマチュアリーグですが、自分とチームメイトにとっては一番のストレス解消法です。